



Idemitsu Mako What a Woman Made

出光真子 おんなのさくひん ある映像作家の自伝

2026年6月18日[木]ー9月21日[月・祝]

東京都写真美術館 2階展示室 恵比寿ガーデンプレイス内

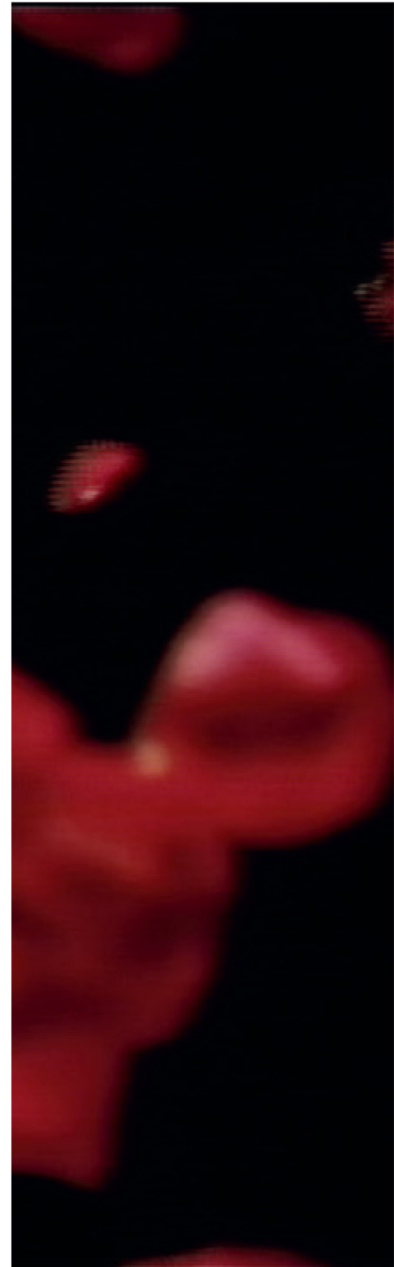
主催：東京都、東京都写真美術館（公益財団法人東京都歴史文化財団） | 開館時間：10:00-18:00（木・金曜日は20:00まで）

※8月6日[木]ー28日[金]の木・金曜日は夜間特別開館のため21:00まで開館 ※入館は閉館の30分前まで

休館日：毎週月曜日（月曜日が祝休日の場合開館、翌平日休館）

TOP MUSEUM

〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内
TEL 03-3280-0099 | www.topmuseum.jp



[観覧料]

一般 700(560)円

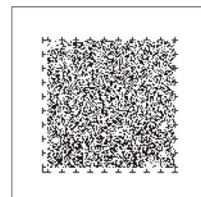
学生 560(440)円

高校生・65歳以上 350(280)円

※()は有料入場者20名以上の団体料金。中学生以下および障害者手帳をお持ちの方とその介護者(2名まで)、TOPMUSEUM PASSPORT 2026 提示者は無料。第3水曜日は65歳以上無料。8月6日[木]ー28日[金]の木・金曜日17時ー21時は夜間特別開館による割引料金(学生・高校生無料、一般・65歳以上は団体料金。学生証・年齢が確認できるものをご提示ください。)※リピート割：本展チケット提示で別日に2割引(団体料金)で本展をご鑑賞いただけます(本展チケット1枚につき1回限り)。

音声コード(Uni-Voice)

専用アプリでチラシの内容を
聞くことができます





《Still Life》1993-2000年 ミクストメディア 東京都写真美術館蔵
©Mako Idemitsu

撮影：阿久井長則

出光真子

1940年、出光興産創業者・出光佐三の四女に生まれる。お茶の水女子大学附属小・中・高から早稲田大学第一文学部に進む。卒業後ニューヨークへ留学。抽象画家サム・フランシスと結婚。二児の母。妻であり母であることを超える創造表現への想いやみがたく、映像作家の道を歩む。自身の経験からフェミニズムをベースに、家庭における親と子、表現者として女性が生きる際の社会的摩擦などを問いつづける。著書に『ホワット・ア・ウーマンめいど—ある映像作家の自伝』(岩波書店、2003)、『ホワイトエレファント』(風雲舎、2011年)など。

※本展タイトルにある「おんなのさくひん」(What a Woman Made)は、映像作家・出光真子の評価を決定付けた、初のビデオ作品(1973年、裏面図2を参照)のタイトルを用いた。

出光真子(1940-)は、日本における実験映画およびビデオアートの先駆的な作家です。1960年代にアメリカ滞在を経て制作を始め、女性の生き方や家族、メディアと社会の関係を主題に、フィルムや当時のビデオを用いた作品を発表しました。とりわけ1970年代以降のビデオ作品では、テレビ・メロドラマの語法を取り入れながら、母と子、夫婦関係、女性の社会的役割といったテーマを独自の視点から描き出しています。近年は、ジェンダーや身体をめぐる国際的な議論の高まりのなかで、その実践があらためて注目されています。本展は、出光の創作活動の全貌を振り返る大規模な回顧展です。当館で収蔵する全作品を、展覧会と上映により網羅的に紹介します。

東京都写真美術館
TOKYO PHOTOGRAPHIC ART MUSEUM



JR恵比寿駅東口より徒歩約7分、東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩約10分。当館には専用の駐車場はございません。お車でご来場の際は近隣の有料駐車場をご利用ください。

担当学芸員によるギャラリートーク

1 | 6月26日[金]14:00 - 文字表示支援付き 2 | 7月24日[金]14:00 - 手話通訳付き

3 | 8月21日[金]14:00 - 手話通訳付き 4 | 9月18日[金]14:00 - 手話通訳付き

当日有効の本展チケットまたは展覧会無料対象者の方は各種証明書等をご持参のうえ2階展示室入口にお集りください。

上映

会場：東京都写真美術館1階ホール | 定員：190名(全席指定、各回定員入替制)

料金：1プログラム 一般およびシニア500円 学生および高校生以下無料 | 協力：国立映画アーカイブ

※当館ウェブサイトよりオンラインによる予約が可能です(一律1プログラム500円)。※当日券(各種割引あり)は当日10:00より1Fホール受付にて販売します。

本展チケットをお持ちの方は、1枚提示した場合、A～Iのうち1プログラムを400円でご鑑賞いただけます(本展チケット1枚につき1回限り)。

[プログラム]

A	《Woman's House》1972 / 16mmフィルム / カラー / サウンド / 13'40" ★
	《Inner Man》1972 / ビデオ (オリジナル:16mmフィルム) / カラー / サウンド / 3'40"
	《Next》1973 / ビデオ (オリジナル:16mmフィルム) / カラー / サウンド / 3'30"
	《おんなのさくひん》1973 / ビデオ / 白黒 / サウンド / 11'
	《At Santa Monica 1》1973 / ビデオ (オリジナル:16mmフィルム) / 白黒 / サウンド / 5'30"
	《At Santa Monica 2》1974 / ビデオ (オリジナル:16mmフィルム) / 白黒 / サウンド / 3'40"
	《Baby Variation》1974 / ビデオ (オリジナル:16mmフィルム) / カラー / サウンド / 8'
	《At Yukigaya 1》1974 / ビデオ (オリジナル:16mmフィルム) / カラー / サウンド / 3'
B	《At Yukigaya 2》1974 / 16mmフィルム / 白黒 / サウンド / 11'10" ★
	《At Santa Monica 3》1975 / 16mmフィルム / 白黒 / サウンド / 15'30" ★
	《Something Within Me》1975 / ビデオ (オリジナル:16mmフィルム) / カラー / サウンド / 9'30"
	《At New Mexico 1》1975 / ビデオ (オリジナル:16mmフィルム) / カラー / サウンド / 12'30"
	《At Any Place 1》1975 / ビデオ (オリジナル:16mmフィルム) / カラー / サウンド / 16'
C	《At Any Place 2》1975 / ビデオ (オリジナル:16mmフィルム) / カラー / サウンド / 3'
	《主婦の一日》1977 / ビデオ / カラー / サウンド / 9'50"
	《At Any Place 3》1977 / ビデオ (オリジナル:16mmフィルム) / カラー / サウンド / 3'40"
	《At Yukigaya 3》1977 / ビデオ (オリジナル:16mmフィルム) / カラー / サウンド / 2'30"
	《At Any Place 4: ヨネヤマ・ママコ作「主婦のタンゴ」より》1978 / ビデオ (オリジナル:16mmフィルム) / カラー / サウンド / 12'30"
	《At Any Place 5》1978 / ビデオ (オリジナル:16mmフィルム) / カラー / サウンド / 12'
	《At Karuizawa 1》1978 / ビデオ (オリジナル:16mmフィルム) / 白黒 / サウンド / 8'10"
	《Make Up》1978 / ビデオ / カラー / サウンド / 9'
D	《At Yukigaya 4》1979 / ビデオ (オリジナル:16mmフィルム) / カラー / サウンド / 16'
	《主婦たちの一日》1979 / ビデオ / カラー / サウンド / 21'50"
	《シャドウ パート1》1980 / ビデオ / カラー / サウンド / 25'30"
E	《わたしのアメリカ、あなたのアメリカ》1980 / ビデオ (オリジナル:16mmフィルム) / カラー / サウンド / 10'
	《父の情景》1981 / ビデオ (オリジナル:16mmフィルム) / カラー / サウンド / 5'50"
	《シャドウ パート2》1982 / ビデオ / カラー / サウンド / 41'40"
F	《アニメス パート1》1982 / ビデオ / カラー / サウンド / 13'10"
	《アニメス パート2》1982 / ビデオ / カラー / サウンド / 19'40"
	《通りゃんせ》1982 / ビデオ (オリジナル:16mmフィルム) / カラー / サウンド / 12'20"
	《英雄ちゃん、ママよ》1983 / ビデオ / カラー / サウンド / 27'
G	《グレート・マザー 晴美》1983 / ビデオ / カラー / サウンド / 13'
	《グレート・マザー ゆみこ》1983 / ビデオ / カラー / サウンド / 24'30"
	《グレート・マザー 幸子》1984 / ビデオ / カラー / サウンド / 18'50"
H	《たわむれときまぐれと》1984 / 16mmフィルム / カラー / サウンド / 16' 国立映画アーカイブ所蔵作品 ★
	《ざわめきの下で》1985 / 16mmフィルム / カラー / サウンド / 11' 国立映画アーカイブ所蔵作品 ★
	《やすしの結婚》1986 / ビデオ / カラー / サウンド / 25'20"
	《洋二、どうしたの?》1987 / ビデオ / カラー / サウンド / 18'
I	《清子の場合》1989 / ビデオ / カラー / サウンド / 24'20"
	《加恵、女の子でしょ!》1996 / DCP / カラー / サウンド / 47' 国立映画アーカイブ所蔵作品

※ ★印はニュープリント16mmフィルム上映。その他はデジタル上映。記載のないものはすべて東京都写真美術館蔵

	6/18	6/19	6/20	7/9	7/10	7/11	7/12	8/27	8/28	8/29	8/30	9/17	9/18	9/19	9/20
	[木]	[金]	[土]	[木]	[金]	[土]	[日]	[木]	[金]	[土]	[日]	[木]	[金]	[土]	[日]
11:00			A			H					C			C	B
13:30			B			F	E			A	D			I	E
16:00	C	E	■	G	D	■	B	G	D	F	E	G	F	■	A
18:30	D	F		H	I			C	G			H	I		

※ ■はゲストによるトーク

ゲストによるトーク

6月20日[土]16:00 - 笠原美智子(写真評論家、長野県立美術館館長) × 小勝禮子(美術史、美術批評)

7月11日[土]16:00 - 斉藤綾子(映画研究者) × 菅野優香(映画研究者、同志社大学大学院教授)

9月19日[土]16:00 - 柚木麻子(小説家) × 伊藤春奈(編集者、文筆家)

会場：東京都写真美術館1階ホール | 定員：190名

※ 入場無料・要入場整理券 ※当日10:00より1階総合受付にて整理券を配布します。※手話通訳・文字表示支援付き。



1



2



3



4



5



6

- 1 《Woman's House》1972年、シングルチャンネル・ビデオ (オリジナル:16mmフィルム)、カラー、サウンド、13分40秒 | 2 《おんなのさくひん》1973年、シングルチャンネル・ビデオ、白黒、サウンド、11分 | 3 《At Santa Monica 3》1975年、シングルチャンネル・ビデオ (オリジナル:16mmフィルム)、白黒、サウンド、15分30秒
4 《主婦の一日》1977年、シングルチャンネル・ビデオ、カラー、サウンド、9分50秒 | 5 《清子の場合》1989年、シングルチャンネル・ビデオ、カラー、サウンド、24分20秒
6 《加恵、女の子でしょ!》1996年、シングルチャンネル・ビデオ、カラー、サウンド、47分 | すべて東京都写真美術館蔵 ©Mako Idemitsu

※事業は諸般の事情で変更することがございます。各種割引、オンラインチケット等を含む最新情報は当館ウェブサイトでご確認ください。

【観覧料】

一般700(560)円

学生560(440)円

高校生・65歳以上350(280)円

※()は有料入場者20名以上の団体料金。中学生以下および障害者手帳をお持ちの方とその介護者(2名まで)、TOPMUSEUM PASSPORT 2026提示者は無料。第3水曜日は65歳以上無料。8月6日[木] - 28日[金]の木・金曜日17時 - 21時は夜間特別開館による割引料金(学生・高校生無料、一般・65歳以上は団体料金。学生証・年齢が確認できるものをご提示ください。)※リピーター割：本展チケット提示で別日に2割引(団体料金)で本展をご鑑賞いただけます(本展チケット1枚につき1回限り)。

音声コード(Uni-Voice)
専用アプリでチラシの内容を
聞くことができます

